

年頭のご挨拶

市長、議長から市民の皆様へ、「令和7年の抱負」を申し上げます。



大和市議会議長
青木 正始

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、議会活動に対し、温かいご支援ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年、国内では能登半島地震をはじめ、複数の大きな自然災害が発生しました。犠牲となられましたかたがたに深く哀悼の意を表するとともに、被災地の一日も早い復興を祈念いたします。近年、日本各地で自然災害は多発しており、市議会といたしましても危機感を持って、災害に強いまちづくりの推進に引き続き取り組んでまいります。

市議会では、年4回の定例会のほか、「前市長による公共工事のやり直しに関する調査特別委員会」を設置し、その経緯や真相究明についての調査・検証等を進めております。また、大和市議会基本条例の理念に基づき設置されている「議会改革実行委員会」においては、より市民の負託に応える議会を目指して、必要な改革に取り組むなど、開かれた議会、信頼される議会づくりに努めております。

また、議会のデジタル化に向けても積極的に取り組んでおり、タブレット端末の導入を検討するなど、議会運営の効率化と透明性の向上を引き続き図ってまいります。

本年も変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶いたします。



大和市長
古谷田 力

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は、本市の市政運営に対しまして多大なるご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、昨年に発生しました能登半島地震や各地の大雨や台風などにより犠牲となられましたかたがたに深い哀悼の意を表しますとともに、一日も早い復興を心より祈念いたします。いつ起こるか分からない自然災害から、市民の皆様やまちを守れるよう、引き続き尽力してまいります。

さて、私は市長就任後、市民の皆様の声を市政に反映するため、可能な限り自ら現地・現場に赴き、さまざまなかたと出会い、直接ご意見を伺ってまいりました。

昨年は、まず福祉の各相談窓口を「福祉ここから相談窓口」と位置づけ、福祉に関するさまざまなお困りごとを取りこぼさないよう受け止める体制を整備したほか、物価高騰対策や不妊治療の先進医療費の助成など、市民の皆様や市内事業者の皆様を支援するため、さまざまな施策に取り組んでまいりました。

本年も、目まぐるしく変化する社会情勢により、行政が取り組むべき課題が山積しております。健全財政を目指し、引き続き市民の皆様との対話を大切にしながら、市民の、市民による、市民のための大和市政を創り上げていきたいと考えております。

結びに、本年が市民の皆様にとりまして、素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。